

京都市では、施設の運営状況を分かりやすくお伝えする取組を行っています。

京都市歴史資料館の運営について

当館は、京都の歴史に関する資料の保存と活用を図り、市民の文化の向上及び発展に役立てることを目的として昭和 57(1982) 年 11 月に開設した施設です。

施設の主な取組（概要）

- 史料の展示・閲覧
一年を通じてテーマ展・特別展を開催し、京都の歴史を物語る古文書や絵図などの歴史資料を展示しています。
また、京都の歴史に関する専門図書や当館が所蔵している古文書複写資料（紙焼き写真帳）などを閲覧していただくことができます。



- 歴史相談
一般的な京都の歴史についての相談や図書・資料の紹介を行っています。
- 古文書講座の開催
多くの市民の皆様が古文書を楽しみながら学んでいただくため、初心者や中級者を対象とした古文書講座を春期、秋期に開催しています。（要予約）
内容や応募方法は、歴史資料館までお問い合わせください。

施設の利用状況（概数）

- 年間約 2 万人の方々に、ご来館いただいています。
（令和 6 年度：約 2.5 万人、令和 5 年度：約 1.7 万人、令和 4 年度：約 2 万人）

施設運営に関する支出・収入（概数）

入館者 1 人あたりに換算すると、上記の取組などによる年間の支出は 3,008 円（総額約 7,419 万円）、物販・講座受講料等の収入は 118 円（総額約 292 万円）です。
この他、施設を利用しない方も含めた市民の皆様からの税金を活用し、運営しています。

< 支出：3,008 円（総額約 7,419 万円） >

人件費 2,376 円	管理・運営 382 円	その他 （光熱水費等） 250 円
----------------	----------------	-------------------------

< 収入：118 円（総額約 292 万円） >

物販・講座 受講料等 118 円	差額 2,890 円 市民の皆様からの税金を活用
------------------------	-----------------------------